

## 令和7（2025）年度事業報告

### 概要

令和7（2025）年度の我が国経済は、景気は緩やかに回復し、個人消費や設備投資は持ち直しの動きが見られました。雇用情勢は改善し、また、消費者物価は緩やかに上昇しました。政府は、「責任ある積極財政」の方針の下、経済対策を進めるとともに、中東情勢への対応として燃料油に対する激変緩和措置や石油備蓄の放出を決定しました。そのような中で、当センターの事業実績は、令和7（2025）年度の契約金額は前年度比約7百万円増の13億4千万円となり、会員数も各種取り組みの効果が出はじめ令和7（2025）年度末で2,119名となり昨年度に引き続き増加しました。会員の平均年齢については、昨年度73.6歳、今年度は73.7歳と年々高齢化が進んでいる状況となりました。今後も引き続き発注者の要望に応えることのできる会員の確保、就業先の開拓を積極的に行い、就業の改善に努めてまいります。

このような状況の下、当センターでは以下のような法人運営と方策をとってきましたので、その実施状況について報告します。

#### 1 会員の確保及び育成 [公益目的事業]

(1) 市内の商業施設でのPR活動及び電子掲示板への掲載、地域情報誌への広告掲載等を実施し会員の拡大を図った。また会員へデジタルによる情報提供に努めた。

【イオン姫路大津8月20日（水） 来場者135名】

【イオン姫路リバーシティ10月30日（木） 来場者131名】

(2) インターネット情報ツールを利用し、会員への情報発信の充実を図った。

【公式LINE登録者342名】

(3) 夫婦会員制度を継続して実施し、新入会員の増強に努めた。

【夫婦会員33組、新規入会57名】

(4) 定例の入会説明会に加え、会場を変えた説明会を実施し、会員の増強に努めた。

【総合福祉会館3月16日（月） 参加者13名】

(5) ハローワーク主催の各種セミナーにてセンター事業をPRし、入会の促進を図った。

・シニア就職面接会にてブースを設置

【11月13日（木）】

・ハローワークのセミナーでのセンターの紹介

【年間12回実施】

(6) 会員の資質向上と育成のため、各種講習会を実施した。

講習名	実施日	会場	受講者
草刈安全講習会	令和7年12月4日(木)	手柄山交流ステーション 研修室	67名
植木剪定安全講習会	令和8年3月10日(火) 令和8年3月11日(水)	姫路市名古山霊苑内	47名

(7) 会員募集チラシを市内関係団体に設置するとともに、地域班長が配布し会員の拡大に努めた。

【班長による配布60人、3,000部】

(8) PR用うちわを姫路駅前にて役職員により配布するとともに、市内ショッピングセンターに設置し会員増強に努めた。

【配布・設置数1,000枚】

(9) 会員紹介制度(会員口コミによる周知活動)を継続して実施し、新入会員の増強を図った。

【入会者27名】

(10) 女性限定入会説明会を開催し、女性会員の体験発表も交え、女性会員の増強に取り組んだ。

【11月17日(月) 参加者36名、入会者19名】

(11) オンライン入会説明会を継続して実施し、会員登録希望者への利便性を図り新入会員の拡大を図った。

【利用者20名、入会者11名】

## 2 就業に関する情報収集、情報提供及び調査研究 [公益目的事業]

(1) 会報「SILVER HIMEJI」及び「会員だより」の発行により、会員及び関係団体等に情報提供し、ホームページを利用しセンター活動内容の発信を行った。

【SILVER HIMEJI 年2回発行、1回5,000部】

【会員だより 年4回発行】

(2) 未就業会員へのサポートとして、会員向けに「お仕事の案内」を作成し、情報提供に努めた。

【毎月2回更新し発行】

(3) (公社)兵庫県シルバー人材センター協会(以下「兵シ協」という。)、(公社)全国シルバー人材センター事業協会(以下「全シ協」という。)等と連携し高齢者の就業に関する情報を収集し、事業の充実に努めた。

### 3 就業相談の実施 [公益目的事業]

(1) 就業相談を毎月2回実施し、未就業者の解消に努めた。

【相談回数24回、相談件数103件】

(2) 入会説明会后、入会者の希望職種・適性を把握し、希望職種に沿った就業相談を実施した。

(3) 会員からの電話や窓口対応で会員のニーズを把握し、就業のミスマッチの防止、未就業者への対応を行った。

### 4 就業機会の確保及び提供 [公益目的事業]

(1) 提案型就業機会創出事業として「傾聴事業」を継続して実施し、姫路市のふるさと納税の返礼品とするなど事業の拡大に努めた。また「楽しく学ぶ傾聴講座」を開催し就業の充実に努めた。

【令和8年1月から開催中 参加者23名】

(2) 提案型就業機会創出事業として「パソコン及びスマホの訪問指導事業」を引き続き実施した。

【実績15件】

(3) 「空き家管理事業」について、継続して姫路市のふるさと納税の返礼品とするなどして受注増に努めた。

(4) 「会員クラウドサービス」を継続利用し、情報提供の充実に努めた。

(5) 独自事業の「姫路城シルバー観光ガイド事業」について、事業運営の改善を図り事業の充実に努めた。

【事業実績1千9百万円】

(6) 家事援助サービス事業において、就業に活かせる研修会を実施した。

講習名	実施日	会場	受講者
料理教室	令和7年11月21日(金)	姫路市市民会館	4名

(7) 9月にセンター普及啓発チラシを市内の全世帯に配布した。

【市内の約23万世帯】

(8) 兵シ協が実施する一般労働者派遣事業の実施事務所として、会員のシルバー派遣事業への拡大を行った。

【契約金額7千4百万円】

### 5 安全・適正就業対策の推進(「事故0」を目指す) [公益目的事業]

(1) 「安全だより」を発行し、健康管理をはじめ事故防止の啓発記事を掲載し、会員の健康・安全意識の向上、安全対策への取り組みを促進した。

【年4回発行】

- (2) 就業の受注時に危険・有害作業等の現場確認等を行い、事故の未然防止に努め、随時自主点検を実施し安全・適正就業に努めた。
- (3) 「会員の就業制限に係る基準」に基づき、ナイロンコードカッターの原則使用禁止を徹底し、会員の安全就業意識の向上、傷害事故及び賠償事故の防止に努めた。
- (4) 現場確認が必要な作業現場を重点に置き安全パトロールを実施し、安全対策の徹底に努めた。
- (5) 草刈り、植木剪定会員にヘルメット等安全用具の着用など安全就業基準の遵守を徹底した。また、作業内容や現場の状況に応じ安全用具等の着用を促進した。
- (6) 刈払機除草作業においては、飛散の少ないチップソーを推奨し、防護ネットの徹底、作業前チェックの励行により事故の防止に努めた。
- (7) 交通安全に関する講習会において安全就業についての会員の意識の向上を図り、事故の減少に努めた。

講習名	実施日	会場	受講者
自動車安全運転講習会	令和8年1月16日(金)	兵庫県自動車学校	19名
自転車安全講習会	令和8年2月26日(木)	姫路商工会議所	22名

- (8) 安全就業強化月間(7月)を設定し、安全だよりに関係記事を掲載し、健康・安全に対する意識の高揚を図った。
- (9) 「適正就業基準」に基づき、会員の就業時間や就業期間の適正化に努めた。
- (10) 「会員立替払等事務取扱要領」に基づき、会員の就業における適正な立替処理を徹底した。
- (11) 健康講座を開催し、就業中・就業途上等における事故防止に努めた。

講習名	実施日	会場	受講者
健康講座	令和7年9月12日(金)	花の北市民広場	7名
健康講座	令和7年9月29日(月)	灘市民センター	11名

## 6 運営体制の充実・強化 [法人としての一般事業]

- (1) 理事会、部会を随時開催し、事業の運営、就業機会の開拓、会員の確保及び安全・適正就業等、着実な事業推進に向け組織的に取り組んだ。
  - ・理事会(年5回)
  - ・総務部会(1回)、広報・女性部会(2回)、安全・適正就業部会(1回)、業務部会(1回)
- (2) 連絡所の事務局体制の維持や受注への対応向上などの効果を見込んで夢前連絡所と安富連絡所を統合し、夢前・安富連絡所を設置した。
- (3) 地域班長会を開催し、会員と連携した組織運営に努めた。

【5月23日(金) 全体地域班長会開催】

- (4) 職員の能力向上のため関係団体の主催する研修会に参加し、適正な役割分担のもとに効果的な運営に努めた。
- (5) コーディネーター会議、現場担当者・連絡所長会議を活用し、職員の意識改革、コミュニケーションの向上、情報の共有化を図り、事務局の円滑な運営に努めた。
- (6) 地域社会への貢献活動としてボランティア活動を実施し、会員の共働、共助意識の醸成に努めた。

【姫路城ボランティア清掃 12月14日(日) 参加者14名】

#### 7 魅力あるセンターづくりの推進 [共益事業]

- (1) センター事業の目的や仕組み、事業活動を広く市民にPRするとともに、会員相互の交流・親睦を深めるために「創立50周年記念・姫路シルバーまつり」を開催した。

【11月16日(日)開催】

- (2) 会員向けの事業としてバス旅行を実施し、会員間の交流・親睦を図った。

【10月1日(水) 参加者15名】

【11月5日(水) 参加者19名】